

平成17年度実行政評価結果一覧表

明日を拓く豊かな市民文化と人づくり(教育・文化)

継続事業				
主管課	事務事業区分		最終評価(決定権者判断)	
	事務事業名	事務事業内容	決定内容	決定の理由
ゆうき図書館	図書館運営管理事業	情報・知識に対する市民の多種多様なニーズに応え、地域の情報化や教養・文化の向上を図ることを目的とし、質の高い情報・空間を提供することによる市民サービスの向上と市街地活性化の拠点となることが期待される。	改善(質的充実・効率化)	開館以来予想を上回る入館者があり、順調な運営がされているが、市民サービス面、運営経費の節減等検討や工夫・改善が常に必要であると考える。しかし、この事業そのものは、継続していかなければならない事業である。
ゆうき図書館	図書等整備事業	情報・知識に対する市民の多種多様なニーズに応え、地域の情報化や教養・文化の向上を図ることを目的とし、図書等資料の購入及び寄贈受付とその整備をし、それらの利用者への提供と保管を行っていく。	改善(質的充実・効率化)	開館間もない図書館において資料の収集は、不可欠な事業である。よって引き続き継続事業とする。
学校教育課	社会人TT非常勤講師派遣事業	市の教育の最重要事業である。複数の教員による学習指導を行うことにより児童生徒にきめ細かな対応を行う。また、特別支援を要する児童生徒に対応する。	維持継続	必要性がますます高い事業であるが、現在三位一体改革で方針が不安定であり、果によって教員の配置や学級編成に違いが出てくるだろう。それまでは、現況で対応すべきである。
学校教育課	小中学校環境整備事業	児童及び生徒たちの安全で快適な教育環境を目指す。	維持継続	学校施設に限らず、建築物は必要なメンテナンスを行って始めて耐用年数が可能となる。よって最低のメンテナンスは継続事業とする。
給食センター	学校給食施設設備更新事業	施設・厨房機器・ボイラー設備の老朽化が著しく、学校給食衛生管理の基準にも不適合であるので、ドライ方式の施設設備を新たに建設し、安全・安心な給食の安定供給を進める。	維持継続	市の未来を担う児童・生徒に安全・安心な給食を提供するために、学校給食衛生管理の基準に適合したドライ方式による給食センターを建設する。
指導課	スクールカウンセラー活用調査研究委託事業	結城市内の中学校にスクールカウンセラーを配置することにより、生徒の心のケアを図る。	維持継続	平成11年4月現在長欠生徒が5%を超えていたが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、フレンドゆうの木のネットワークによる対処によって成果が出ている。よって、継続実施する。
指導課	外国語指導助手派遣事業	外国語指導助手3名を市内各中学校に1名づつ配置することにより、中学生の英会話力の向上や小学生の国際理解の向上を図る。	維持継続	国際感覚を養うためとともに英語力の向上に大いに役立っていると判断される。よって、継続実施する。
指導課	国内交流推進事業	結城市と福井市とで友好都市交流事業として、小学生6年生がホームステイ体験を通して相互交流することにより、お互いの歴史や文化を理解し合える人材を育成する。	維持継続	友好都市福井市との交流の一環として実施しているこの事業の主旨、目的はよいので、実施内容を見直し、実施する。
指導課	心の居場所づくり事業	不登校児童生徒を対象に学校とは異なる場での生活を通して、集団生活への適応を促進させ、再登校を図る。	維持継続	長欠率は県平均を大きく下回って、大きな成果がでている。よって引き続き実施する。
社会体育課	スポーツライフ推進事業	中学生の各種スポーツ大会を開催することにより青少年の健全育成と選手間相互の親睦を目的とし、健康な体力と旺盛な気力を養うとともにスポーツの普及発展を図る。また、スポーツ教室、スポーツレクリエーション祭、マラソン大会等を開催することにより、青少年から高齢者までの生涯スポーツの振興を図ることを目的としている。	改善(質的充実・効率化)	中学生の各種大会は引き続き実施していく必要がある。マラソン大会については毎年盛況に開催されているが、県道の使用や財政負担面を勘案して、内容を改善すべきである。
社会体育課	鹿窪運動公園管理事業	各種競技等の施設利用の拡大を推進し、スポーツ施設等の維持管理運営の向上を図る。また、鹿窪運動公園施設としての機能を高め、施設を利用してもらうことによりスポーツの振興及び健康づくりを図る。	維持継続	施設の維持管理には、いろいろ検討課題はあるが継続しなければならない事業である。
生涯学習課	ふるさと体験事業	心身ともに健康で創造性・協調性・社会性に富み、郷土を愛することのできる青少年を育成するために、体験学習や社会参加の機会を提供する。	維持継続	子どもたちの郷土愛が稀薄になりつつある現代社会においては、このような事業を継続することが大切である。
生涯学習課	下り松遺跡発掘調査出土品整理事業	下り松遺跡発掘調査で出土した遺物を整理し、詳細に調査することによって、遺跡の年代や特徴を解明するとともに、整理した出土品を展示に活用する。	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)	継続して進めている事業であるが、整理した出土品を展示する場所が無く、事業効果に問題がある。今後、事業を拡充していく必要がある。
生涯学習課	家庭教育支援事業	家庭や地域の教育力を向上させるため、家庭教育学級・三世代交流事業・親子体験教室がある。子を持つ親としての学習や望ましい家庭づくりについての学習、親子や祖父母、世代間の交流の促進を目的とした体験学習を行う事業である。	改善(質的充実・効率化)	家庭教育支援事業は、成果や運営状況をよく把握したうえで、目的を重視して幅を広げないことが重要である。現在の3つの支援事業を工夫しながら継続していくことが重要である。

平成17年度実行政評価結果一覧表

生涯学習課	結城廃寺跡整備事業	国指定史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡の保存を図りながら、史跡の重要性について市民の理解を深めるとともに、歴史教育の拠点や市民の憩いの場としての史跡公園として整備する。	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)	歴史の街結城には、施策上欠かせない事業の一つである。財源の問題もあるが、国・県への要望をし、できるだけ早く整備に着手する必要がある。
生涯学習課	市民文化センター管理運営事業	市民文化センター管理運営事業 管理運営をする。自主事業を行う。	維持継続	文化センター「アクロス」は、単なる貸館ではなく、市民主体のホール、市民のイベントを催すことが重要である。少ない予算でも工夫して自主事業を継続していくべきである。
生涯学習課	情報センター管理運営事業	市民情報センター管理運営事業 管理運営をする。自主講座を行う。	改善(質的充実・効率化)	開館以来予想を上回る入館者があり、順調な運営がなされているが、市民へのサービス面、運営経費の節減等の検討や工夫・改善を常に行いながら、運営していく必要がある。
生涯学習課	人権教育推進事業	人権問題は、女性・子ども・高齢者、障害者・同和問題・外国人・ハンセン病・HIV感染者・罪や非行を犯した人・インターネットにおける人権問題など、複雑・多様化しています。そこで、人がらしく生きていくために、一人ひとりの人権が尊重され、互いに尊重しあい、共生できる人権意識を育てていくため、この事業を推進する。	維持継続	人権連絡会を中心によく連携して事業に取り組んでいる。今後はこの事業がマンネリ化しないよう、常に啓発の工夫や参加呼びかけの検討を加えながら事業の推進を図る必要がある。
生涯学習課	生涯学習ネットワーク推進事業	多様化・高度化する学習欲求に対応した生涯学習を推進するため、日常生活の向上を目的としてより多くの地域や人の参加促進を図る。	改善(質的充実・効率化)	指導者の確保の問題もあるが、毎年同じ講座を開く傾向にある。市民の要望を的確にとらえ、今後も幅広いジャンルを研究して行う。
生涯学習課	地域子ども教室推進事業	少子化やテレビゲームの普及などにより、今の子どもたちは学年の違う子どもや地域の人と接する機会が少なくなっている。この事業は、子どもたちが放課後などに学年の違う子どもと自由に遊んだり、地域の人々と交流できる機会を設け、人づきあいについて学んだり、自分の考えをしっかりと伝える力などを育むことを目的としている。	改善(質的充実・効率化)	市内各小中学校においても総合的な学習としてモニター・ティチャーやゲストティチャーを迎えたり、職場体験を実施している。生涯学習課で指導者を把握し、登録して、学校とのタイアップ事業等を検討する必要がある。

新規事業(平成18年度以降の新規事業)

主管課	事務事業区分		最終評価(決定権者判断)	
	事務事業名	事務事業内容	決定内容	決定の理由
学校教育課	学校施設耐震化推進計画事業	学校施設は、地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難所の役割を果たすために、耐震性の確保が必要である。	予定通り要求	昨今、地震等による災害発生が多い。児童生徒の安全面と市民の防災の面から耐震化調査を実施すべきである。
指導課	社会科副読本配本改訂事業	小学校社会科の授業で使用する社会科副読本の一部改訂を行うことにより、改めて配本する。	予定通り要求	社会科副読本は、結城市の歴史・文化を次世代にしっかりと継承していくうえで、大変重要な教材であり、予定のとおり実施すべきである。
生涯学習課	国民文化祭事業費	国民の文化祭として全国的な規模で地域文化の振興に資することを目的に開催している国民文化祭である。平成20年に茨城県において開催予定である。	予定通り要求	茨城県内市町村で約80事業が計画されており、結城市としても文化振興の趣旨を踏まえ当該事業を実施すべきである。開催手法としては、民間の主催事業と絡めて共催するなど経費の節減を図り実施すべきである。
生涯学習課	生涯学習フェスティバル事業	生涯学習に係る活動を実践する場として全国的な規模で提供することにより、国民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興に資することを目的とする。	予定通り要求	本市の生涯学習の発展と本県で開催する全国生涯学習フェスティバルの成功にむけて、参加内容を創意・工夫し、フェスティバル大会に臨む。